

We Love

インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合

Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの方の参加をお願いします。

Let's Access!!

Shouting!

今月の高座



インターネットを始めたいと思って本を探していたのですが、山のようにありすぎて本屋でものごく悩みました。結局、プロバイダーの調査データが決め手となり、インターネットマガジンを買うことにしました。しかし、読んでみると、やっぱりツールの使い方などの説明が難しくすぎます。もっとわかりやすく説明して

ください。たとえばファイルの解凍方法などは図解入りをお願いします。それから広告が多すぎます。特集記事が探しにくいですし、重くて満員電車で持ち帰るのが大変です。もっと広告を減らして減量してください。文句ばかり言ってますみませんが、これからも買いたいののでよろしくお願いします。(高橋辰男さん)

某専門学校生さんの意見



毎日新聞社のアウロス(URL <http://aulos.mainichi.co.jp/>)で「第1回雑誌大賞」というのをやっていて、好きなパソコン雑誌と嫌いなパソコン雑誌を投票するようになっていたので、インターネットマガジンに1票入れました。もちろん、「好き」なほうにです。後で結果を見たら、何と「好き」も「嫌い」も両方1位でしたよ。おめでとうございます(笑)。「好き」から「嫌い」を引いた数の総合ランキングはやっぱり1位でした。

(丹羽輝義さん)

高橋さん、持ち帰るのが重ければ、定期購読という手もありますが…。いや、その前に広告を減らし、解説を簡単にしないとイケないでしょうか。ご意見を広告営業担当・立花27歳に伝えたところ、「そう言われても困るっす、僕は広告増やすのが仕事なんすから」と答えていました。解説のほうは「わかりやすさ」を目指してがんばります。それから、丹羽さんをはじめ、アウロスで投票して下さった方に感謝します!!

編集部



Chatting!

声を聞かせて

「沢木耕太郎に関する情報ってインターネットで調べられる?」と頼まれて、おもだった検索エンジンで探し回ってみました。その結果、見つかったのはたった1件。「ある情報はうなるほどあるが、ない情報は全くない」というウェブの本質を実感しました。おそらく多くの方が、「なぜこんなに他愛ないキーワードの情報がないんだろう?」という体験をされていると思います。そういった「ありそうでない情報」の一覧なんてものがあれば見てみたいですね。



熊本のプロバイダー「インターサーブ」で働く21歳です。やっと熊本でもインターネットが浸透してきました。今、「ホームページくまもと」というページを制作しています。パッチャルショッピングガイドと称して熊本の市街地のページを作っているのですが、忙しいです! 休みたいです! 普通の女の子に戻って恋愛し

たいです。ま、夢のような話だ。ちなみに「HPくまもと」は一部<http://www.interserve.or.jp./KMA/docs/index.html>にリンクが繋がっています。



インターネットを始めて最近よく質問されるようになりました。

20代: ノーカットで見れるんですか?

30代: インターネットって何が楽しいの?

40代: 通信(インターネットのことだと思)してんの?

50代: 今から始めればだいじょうかな?

マスコミの力はすごいと思いますが、まだまだ理解されてないなと感じます。みなさん、百聞は一見にしかずです。いやならやめればいいのですから、この世界のおもしろさを一度体験してみたらどうかと思います。



先日、東京大手町の紀伊国屋書店で、いつものようにインターネットマガジンを買おうとしたら、くじを引かせてくれました。で、オリジナルデザインウォッチが当たってしまいました。とてもうれしかったです。時計は大切なダンナ様に差し上げました。彼は喜んで毎日はめています。これからもっとインターネットも教えてあげなくっちゃ。わが家では、私(妻)がコンピュータをセットアップする人で、夫は妻のいうまま使う人です。



面白いURLを発見しました。

<http://this.is/>

<http://this.is/you/>

銀河鉄道じゃありませんが

<http://www.999.com/>

というものもありました。



投稿大募集

Shouting!

- ・声を大にして言いたいこと

Chatting!

- ・あなたのインターネット体験記
- ・読者が作るイエローページ
- ・お気に入りのWWW情報
- ・あなたのホームページのPR

その他新企画へ向けて以下のテーマの投稿を歓迎しています。

①猫も杓子もインターネット

ブームゆえに、何でも強引にインターネットに結びつける世の中になりました。「え? インターネットが使えるサウナ? マジかよおー」といった、なぜ、これがインターネットと結びつくのかとあなたが感じたものをレポートして送ってください。

②インターネットニュービジネスのアイデア
インターネットでこんなもの売ったらどうか、こんなビジネスをインターネットでやりたいんだけど...と思ったら、企画書を書いて送ってください。専門家の意見を聞いて実現できるかどうか考えます。

宛先メールアドレスは

ip-box@impress.co.jp

投稿の際のお願い

インターネットポイントは終了しました。ダイレクトプラスの会員番号を書いてください。投稿していただいた方には、以前の「インターネットポイント」に代わり、「ダイレクトプ

ラス」を発行しています。ダイレクトプラスをためるには、まず、インプレスダイレクトに会員登録をして会員番号を取得する必要があります。方法は366ページに掲載してありますのでご覧ください。

投稿文には必ずダイレクトプラスの会員番号を入れてお送りください。5月13日以降、以前のシステムのとおり

#IPID:あなたのメールアドレス

を書いて投稿された方には、ダイレクトプラスを発行できていません。心当たりの方は、お手数ですが、再度メールで

ip-box@impress.co.jp

にご連絡ください。個別に対応します。

「東京トイレマップ」でトイレを撮り続ける

林 雄司さん



Q：東京トイレマップはどんな理由で始めたんですか。

林：ちょっと誇張して書いてありますが、ホームページにあるとおりです。昔からお腹が弱いので、朝から通勤の途中でトイレに行くことが多くて、それで、今自分が乗っている電車は何両目で、今降りてトイレを探したほうがいいのか、一駅先まで乗って知っているトイレに行ったほうがいいのか、そういうのを誰かが書いてくれないかなと思っていました。

Q：写真がかなり載っていますが、カメラは昔からやっていたんですか。

林：高校生のときに8ミリフィルムで映画を撮って遊んだくらいで、それはトイレには関係ないです。去年の暮れにボーナスでQV-10を買って、酔っぱらってふざけてトイレの写真を撮って見たんです。そうしたらけっこういい感じで、これを載せたら自分でホームページが作れることに気がついたんです。

Q：それで1月15日にホームページを公開したんですね。

林：こんなので受けるかどうかわからなかったのですが、最初はいろんな人に見せて回って、まあ面白いんじゃないかという反応でした。公開してから『インターネットウォッチ』に載って、ちょうどその頃九州に出張で行っていたんですが、戻ってきたらメールが20通くらい来ていました。あちこちで評判になって驚いているんです。ASAHIネットはCGIが使えないので、アメリカのカウンターを使っているんですが、今は1日220～230件くらいアクセスがあります。

Q：どんなメールが来ますか。

林：「よくやった」とか「僕もお腹が痛くてこういうのを望んでいた」というメールが多いですね。NTTの新着情報に載せると海外からも来ます。日本からのものも海外からのものも「お前はよくやった、こんな臭いページを作って」という感じです。「俺もアメリカでトイレのページを作る」なんてのもありました。外国からのメールで「自分も辛い目にあった。日本のトイレは臭いし、どう使っているかわからないし」なんていうものもあります。

「東京トイレマップ」という面白くて役に立つホームページがある。その名のとおり、東京のトイレ、それも駅を中心にどこにどんなトイレがあるか情報を満載したサイトだ。出先でトイレがなくて困った経験を持っている人は多いと思うが、自分も苦労しているという林雄司さんが、こつこつとトイレを取材し、写真を撮って、このユニークなページを作り上げた。役に立つし面白いけれど、ちょっと不思議なページでもある。林さんとはいったいどんな方なのだろう。編集部近くの靖国神社内の公衆トイレのそばのベンチで取材を試みた。



Q：今収録している駅のトイレはどのくらいありますか。

林：130くらいだと思います。最初は18駅で、葛飾区の自宅から港区の会社まで地下鉄の途中の駅とか、自分が使っている路線の駅が中心でしたが、毎週追加しているうちにだんだん増えてきました。外回りの仕事が多いので、ついでに行った先のトイレの写真を撮ってきます。写真を撮るついでに仕事してるのかもしれない(笑)

Q：インターネットを始めたのはどんなきっかけからですか。

林：ジー・サーチというデータベースの会社に勤めているんですが、94年の終わり頃にインターネットの部署に移ったんです。ジー・サーチでどんなホームページを作ろうかということで、いろんなサイトを見ていました。個人でもやりたいなと思ってASAHIネットに入りました。それから去年の頭に富士通のFMV、486で66MHzのを買ってダイヤルアップ接続も始めました。

Q：奥さんの協力で女性トイレのマップも作りたいということですが。

林：土曜日とか日曜日に遊びに行ったときも、必ず写真を撮ってくるんですが、そのときにカメラを渡して撮って来てもらうんだけど、あんまりいい写真じゃないんですね。撮って来てもらって文句を言うことはないんだけど、どうもアングルとか違うんですね。でも、そのうちに女性トイレ版も作りたいですけど。

Q：奥さんはトイレマップについてどう言っていますか。

林：休みの日に夜遅くまでトイレの写真ばかりいじっているの、むっとしていることもあります。でも、止めてくれとはいいません。雑誌に紹介されているのを見ると喜んでますから。実は父親には怒られるかなと思ってたんですが、両親も雑誌に出たのを見て喜んでくれました。ホームページを実際に見たら、怒られるかもしれないですけど。

Q：トイレの情報だけでなくて落書きを載せたり読み物としても面白いんですね。

林：実は落書きがいちばん好きなんです。1日くらいで消されちゃうからもったいないでしょう。それから、こないだから清掃中の看板も撮って載せました。トイレを撮ろうと思って行くと、掃除中で悔しい思いをすることがけっこうあるんです。それなら集めて載せちゃおうと思って。

Q：そうですね、トイレに行こうと掃除していることってよくありますよね。

林：午前中が多いみたいですね。最近の駅のトイレは頻りに掃除しているみたいで、昔よりずっときれいになりました。始めたときはもっと汚いだろうと覚悟していたんだけど、思いのほかきれいで驚きました。きれいなトイレもいいけどリアルな汚いトイレも雰囲気があって好きなんです。

Q：撮影に行くときはカメラ以外に何か持っていきますか。消臭スプレーとか。



東京トイレマップ

URL <http://www.asahinet.or.jp/~AD8Y-HYS/>

林：スプレーとかは持っていきませんね。臭いも臭いなりにがまんして体験しないといけないと思っています。懐中電灯は持っていきます。トイレの中が暗いと写真が撮れないので、そのためのです。

Q：トイレで写真を撮っていて不審に思われることはありませんか。

林：個室に入ってドアを閉めて撮りますからだいじょうぶです。デジタルカメラだからシャッター音もしませんし。ただ、トイレの入り口を撮りたいときは周りが気になることもあります。新宿のトイレなんだけど、オウムの事件があったから警官が立っているんです。そのときは妻と一緒にだったので、2人で怪しくないふりをしながら撮ったんだけど、よく考えてみると、オウムって男女で行動するんですよね(笑)。

Q：トイレの写真を撮るだけでも、いろいろ苦労があるんですね。

林：新宿に行くと、変化がないかと思ってとりあえず全部のトイレを回るんですが、最近のトイレって監視カメラがあるじゃないですか。もし、1か所で見られていたら、あちこち出入りしているのがわかるわけだから、これって相当変ですよ(笑)。

Q：今後どのくらいまで充実させていきたいですか。

林：とりあえず山手線の中だけはカバーしたいと思っています。でも、仕事ではなか



なか北のほうに行かないので、休日に池袋のトイレに行きたいからついでに買い物しようとか、大変ですよ。東京で前田さんという方が、僕もカメラを買ったので始めてみるといってやっています。僕も全部一人でやるのは大変だし、それじゃあインターネットらしくないから、みんなでリンクしてできるといいですね。

Q：全国に広げる計画はないんですか。

林：大阪をやってくれというメールはけっこう来ます。大阪のトイレは変だと面白いという話も聞くので、自分でやってみたい気もするんですけど、大阪出張というのはなかなかないし、大阪環状線くらいはできるといいなとは思っているんですけど。

Q：すっかりトイレマップにはまっている感じですね。

林：以前はデータベースの仕事をしていたんですが、データベースを集めている人は何か取りつかれているような人が多いんです。とにかく全部集めないと気がすまない、僕もああなりつつあるのかなと思ってやだなあとと思うんだけど、とりあえず山手線内だけはやりたいですね。ただ、ASAHIネットは5Mバイトまでなので、そろそろあふれそうなんです。どこか無料でやらせてくれるところがあるといいんだけど、中身に言われるのはいやですね。

(取材・文/鈴木康之)

Net Surfing!

読者が作るイエローページ

ホームページを作ったらたくさんの人にきてほしいと思うのが人情です。今月は、自薦サイトの力作を集めました。

車椅子で行けるレストランガイド

URL <http://www.asahi-net.or.jp/SK6K-YSD/>
 わが家のホームページの中に自作の「車椅子で利用できるレストランガイド(東京・横浜編)」を掲載しています。入り口に段差がなく、店内または近辺に車椅子用トイレのあるお店を一部写真入りで紹介していますので、外食時の場所探しにご利用ください。車椅子用トイレの写真も一部掲載しています。今後、掲載店と写真の数を増やしていくつもりですが、情報提供も大歓迎です。そのような店をご存じの方は、ぜひホームページ内からメールでお知らせください。



森くんも入ったオートレースの情報

URL <http://www.amnet.co.jp/nagatomi/index.htm>
 スマップの森くんが話題のオートレース関係のページがほとんどないので、私が作りました。オートレースのファンとして彼の力に期待しています。



踊る顔文字(^_^)

URL <http://members.ascinet.or.jp/net16479/>
 電子メディアでのコミュニケーションには欠かせない存在となった顔文字。その顔文字(^_^)が踊るページをつくってみました。ちょっとした息抜きにでもご覧ください。JavaScriptで作っていますのでNetscape2.0以上が必要です。



髪の毛を解決する

URL <http://www.gulf.or.jp/hiroyuki/>
 髪の毛はなぜ抜けるんだろう？髪の毛はどうすれば健康になるの？など、髪の毛や頭皮に関する悩みって誰でも1つか2つは持っているものですね。そんな悩みを少しで解決するお手伝いができればいいな〜という気持ちで始めた、美容師が作るホームページです。髪に関する悩みや質問なども随時受け付けています。あなたに似合う髪型を見つけたり、頭皮の健

NEW パーチャル田んぼ通信 1

7月号の「あの人に会いたい！」で紹介したパーチャル田んぼの米作りがいよいよスタートしました。We Love Internet Peopleでは、毎月、主催者の石川コオさんに、お米ができるまでの経過を伝えてもらいます。

一昨年、自分で酒を造ろうとどぶろく作りを始め、「えい、どうせなら米作りから」と素人考えの無謀ともいえる計画を立てたのが始まりでした。ホームページを通じて約半年間、田んぼの仮想オーナー(パーチャルファーマー)として一緒にお米作りを体験しようというこの企画。秋の収穫後は一部を酒米として小西酒造さんに特別醸造酒にいただき、自分たちで育てたお米とお米で醸造した日本酒を楽しもうという「贅沢計画」です。(まだわずかに参加枠が残ってます)。6月23日の田植えに

田植えに挑戦!

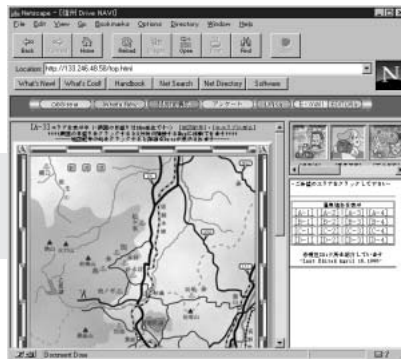
URL <http://www.mmjp.or.jp/tambo/>



日焼け対策のため、なつかしい麦わら帽子による完全防備でのぞむ女性の姿も。

は約30人が集合しました。初めて見る田植え靴(ゴム引きの地下足袋)にとまどいながら、わいわいと準備。

田んぼのオーナーの作本さんにレクチャー



信州 Drive Navi

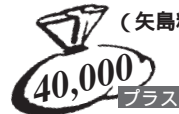
康度をチェックしたり、少しでも役に立てるページ作りを目指しています。(大橋裕之)



信州 Drive Navi

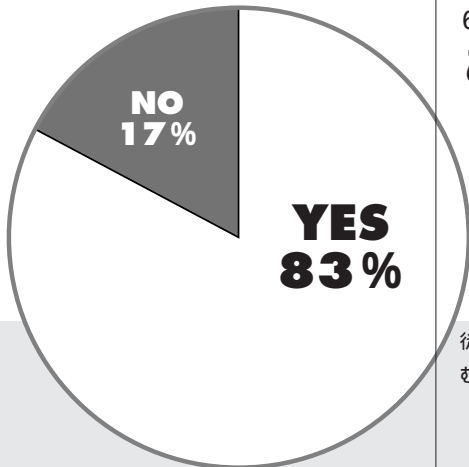
URL <http://133.246.48.58/>

信州を中心としたドライブやツーリングレジャーのホームページです。30万分の1のスケールマップをクリックしながらレジャー情報を調べることができます。長野県を中心に北東は新潟県中魚沼郡津南町、北西は富山県魚津市、南西は愛知県東加茂郡、南東は静岡県富士宮市までの4地点で囲まれた広域エリアをカバーしています。このエリア内の温泉(351か所)風景写真(25か所)花の見どころ(18か所)オートキャンプ場(99か所)を紹介しています。



を受け、全員がいっせいに膝まで泥の中に入り田植えを開始しました。初めて入る田んぼのぐにゅとした泥の感触がなんとも新鮮で、慣れてくるとこのぐにゅ感がなんとも心地よくなりました。不慣れな部分は頭数で勝負とばかりに午後にはぐんぐん調子が上がり、広い水田に整然と植えられた苗を眺めたら疲れも忘れて一同感無量でした。

田植えの間、ASAHIネットさんの協力で観測カメラを設置し、ついに「たぶん世界初?! 田んぼのリアルタイム画像」がインターネットに流れることになりました。毎時1分にシャッターを切り、数分後にはホームページに自動的に公開されるしくみです。パーチャルファーマーの皆さんだけでなく、ぜひ「田植えからお米ができるまで」をリアルタイムでおつきあいください。(石川コオ)



職場の事務所内では禁煙になっていますが、現実には昼休みや休憩時間に自席でたばこを吸う人が絶えません。喫煙は自由にしても、ルールとして禁煙が定められているのなら守るのが当然で、他者からみても、ルール違反はみっともないと思います。

(男性 28歳 公務員)

喫煙を禁止し、その有害性について教えている教師が、生徒の横でたばこを吸っている姿は割り切れないものを感じる。喫煙は未成年者には有害であるが、先生の側で煙を吸うのはかまわない?ということなのだろうか。学校では全面禁煙にするか、いっそのこと教師と生

6月の結果報告

あなたは職場の「禁煙推進」に賛成しますか?

Yes 賛成。公共の場では吸うべきではない。

No 反対。どこで吸おうが個人の自由だ。

WWWサーバーで実施している世論調査に寄せられた意見から、一部を紹介しします。このほかの意見はインターネットでご覧ください。

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

徒の共通の喫煙所を作れば生徒との会話も進むのでは? (男性 30歳 中学教師)

たばこは吸いますが、禁煙場所で1度も吸ったことがないのが自慢です。自動車の運転中も禁煙しています。これでも1日に15本は吸えます。(男性 39歳 会社員)

会社で上司が吸っている場合はなかなか嫌煙権を言い出せないのが現状だと思います。いちばん問題なのは、嫌煙権を持ち出したときの喫煙者からの「何を神経質な」とかいう反論です。また、路上での歩きながらの喫煙は後ろを歩く人に煙だけでなく灰も撒き散らします。条例でもなんでもいいですから全面禁止すべきと考えます。(男性 36歳 会社員)

私のアルバイト先では、喫煙者が圧倒的多数を占めており、たばこが嫌いな私は、そのことを言い出すわけにもいかず、いつも肩身の狭い思いをしている。日本人、とくにいまだ社会の主構成員の地位にある男性のうち、喫煙者が大多数を占めている日本の現状では、少数の嫌煙者の「嫌煙権」が「喫煙権」と同様に認められるようになるのは、まだまだ先のこともかもしれない。(男性 19歳 学生)

私はたばこを吸いますが、吸わない人が近くにいと気がねするので、喫煙場所で吸うようにしています。ゆったりと吸ったほうがうまいのです。ですから分煙には賛成です。

(男性 34歳 会社員)

私はタバコを吸う人ですが、隣で吸われたら嫌です。(男性 26歳 サラリーマン)

YES の意見から

現在の禁煙運動にはヒステリックな魔女狩りを感じさせるものがある。禁煙禁煙と騒いでいる人間が、空き缶ボーイ捨てをしているのを見るのはこっけいな光景である。禁煙派はなんだかんだとえらそうな理由をつけても、結局は自分が良ければそれでよいと思っている人が大部分ではないのか。(男性 32歳 会社員)

私のいる職場では、休憩時間に決められた場所での喫煙が認められているのですが、それでもまだ、全面禁煙などの声が出ることがあります。煙草を吸わない人にとっては確かに喫煙者は迷惑なんでしょうが、限られた範囲での喫煙権は保護されるべきだと思います。それから、昨日まで煙草を吸ってた人が、今日から禁煙をはじめたからといって職場全体を禁煙にしようというのはいけませんか。

(男性 40歳 会社員)

NO の意見から

事務所が禁煙となり、一部屋のみ喫煙室ができた。愛煙家が集まり、社長、専務、部長から平社員まで妙な意見交換、意志疎通の場が生まれている。その部屋は来客の愛煙家も訪れるので商売の話になることもしばしば、もちろんその一室でしかタバコが吸えないので、社長が来客の対応をしようとして無礼講で入室OK。かえてお客さんが遠慮をしている。

(男性 44才 会社員)

私のいるフロアは24時間禁煙で、喫煙場所があります。導入当初は部長を含めたすべての人が守っていたのですが、最近、上役などは場所にかまわず吸っています。私みたいなペーペーはやはり喫煙場所まで移動しなければならず、その時間仕事が止まり、効率が悪くなってしまいます。やはりものを考えるときなどは

机で吸いたいです。(男性 31才 SE)

私が以前いたコンピュータ関係の職場は、事務職の女性は紺の制服があり、営業の女性はスーツでした。まあ営業の男性に困まれているわけで、当然のごとくタバコの煙が始終プカプカしています。で、ついつい私も吸ってましたけど、課長に「頼むからやめてくれ」を言われました。こういうときだけ男女差別!? などとも思いましたが、確かにお客様もくる可能性のある事務所のこと、すっぱりやめましたけどね。基本的にはどこで吸おうと他人の迷惑にならなければいいと思います。

(女性 26歳 秘書)

取り上げてほしいテーマをお送りください。
宛先 ip-box@impress.co.jp

次のテーマ **シングル限定!**
あなたは結婚したいと思いますか?



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp